

令和6年度中央区ごみ排出実態調査（速報版）

令和6年度に実施した中央区ごみ排出実態調査は、区内の家庭や事業所等から排出されたごみについて、ごみ量及び性状等の調査を行うとともに、ごみの減量・リサイクルに関する区民・事業者の意識、取り組み状況等を把握するものである。

前回調査は5年前の令和元年度に実施されている。

① 家庭系ごみ排出原単位調査

区民1人1日あたりのごみ・資源の排出量を調査した。

燃やすごみ、燃やさないごみ、プラスチック製容器包装、資源について、調査対象地域の集積所に調査員を配置し、排出する区民へ「世帯人数」と「何日分のごみ量」かを聞き取り、排出されたごみ・資源の重量を測定した。

調査対象地域

京橋	新川1丁目
	新川2丁目
日本橋	日本橋人形町2丁目
	日本橋蛸殻町1丁目
	日本橋浜町2丁目
	日本橋浜町3丁目
月島	佃1丁目
	佃2丁目
	月島2丁目
	月島3丁目
	月島4丁目
	勝どき5丁目
	勝どき6丁目
	晴海3丁目

世帯人数別調査対象者数

属性（世帯人数） ごみ・資源の種類		1人 (若年層) ※	1人 (若年層以外)	2人	3人	4人以上	合計
燃やすごみ		31	163	220	84	70	568
燃やさないごみ		0	9	19	8	4	40
プラスチック製容器包装		3	41	57	26	19	146
資源	紙類	5	21	42	20	16	104
	ペットボトル	2	25	41	21	22	111
	びん	2	9	20	10	15	56
	缶	3	16	43	13	20	95
	金属類（調理器具）	0	0	1	0	1	2
資源合計		12	71	147	64	74	368

※見かけの年齢が30歳未満を若年層とした。

② 家庭系ごみ組成分析調査

家庭から排出されるごみ・資源の組成割合を調査した。

燃やすごみ、燃やさないごみ、プラスチック製容器包装、資源について、調査対象地域の集積所からサンプルを回収し、中央清掃工場でサンプルの組成を調査した。

なお、サンプルは排出原単位調査と同じ地域から回収した。

調査結果（速報）

（１）燃やすごみの組成

前回調査から可燃物の割合が増加し、資源物の割合が減少した。

（２）燃やさないごみの組成

前回調査から組成割合はほとんど変わらなかった。

（３）プラスチック製容器包装の組成

前回調査からプラスチック製容器包装の割合が減少し、可燃物の割合が増加した。

（４）資源の組成

前回調査と変わらず、95%以上が適正に排出されている。

③ 区民アンケート調査

区民がごみ及び資源をどのように分別・処理しているか、ごみ処理・3R等についてどのような考え方を持っているのかを把握するために区民アンケートを実施した。

区民アンケートの発送数と有効回収率

	令和6年度	令和元年度	増減比較
総発送数	2,000	2,000	0
返送数	12	16	-4
有効発送数	1,988	1,984	4
回収数	562	529	33
有効回収率	28.3%	26.7%	1.6%

※有効回収率＝回収数÷（発送数－返送数）

（１）主な質問

１）充電式電池の処分方法

燃やさないごみの日、拠点回収の合計が40%以下となり、前回調査から大きな変化がない。

２）区の広報の認知

ごみと資源の分け方・出し方パンフレットが80%以上となり前回調査から大きな変化がない。

3) リサイクルの推進と費用について

50%以上が「費用がかかってもリサイクルを推進すべき」と回答しており、前回調査とほぼ同様の結果となった。

4) 生ごみ処理機の使用状況

今回の調査で新たに設問した。50%以上が、「使用は考えていない」と回答した。

5) 買い物の際のマイバッグやレジ袋について

60%以上が「マイバックを持参している」とした。前回調査から大きく増加した。

6) フードドライブの認知

「知っていて、利用したことがある」「知っているが利用したことがない」の合計が 50%程度になった。前回調査から 1 割程度増加した。

④ 事業所アンケート調査

事業所のごみ及び資源をどのように分別・処理しているか、ごみ処理・3R等についてどのような考え方を持っているのかを把握するために事業所アンケートを実施した。

アンケートの発送数と有効回収率

	令和 6 年度	令和元年度	増減比較
総発送数	5,000	5,000	0
返送数	201	59	142
有効発送数	4,799	4,941	-142
回収数	1,279	1,211	68
有効回収率	26.7%	24.5%	2.1%

※有効回収率＝回収数÷（発送数－返送数）

(1) 主な調査結果

1) 顧客に対して行なっているごみ減量・リサイクル推進への取り組み（複数回答）

「商品の過剰包装をやめたり、梱包材を簡易的なものにしている」と回答した割合が 15%程度となり、前回調査から増加した。

2) 事業所で行っている取り組みごみ減量・リサイクル推進への取り組み（複数回答）

「職場に資源（紙、びん、缶、ペットボトルなど）の分別ボックスを設置している」と回答した割合が、60%を超え、前回調査から増加した。

3) ちゅうおうエコ・オフィス町内会の認知・参加

「知らなかった」と回答した割合が 90%程度となり、前回調査からほぼ変化がなかった。

4) 有料ごみ券の貼付け

①ごみを排出する場合

「いつも貼付している」と回答した割合が 80%程度となり、前回調査から減少した。

②資源を排出する場合

「いつも貼付している」と回答した割合が 50%程度となり、前回調査とほぼ変化がなかった。

5) 食品ロス削減の取り組み

「過剰生産の削減を行っている」が 20%程度となり、前回調査から減少した。